

## V 住宅・土地所有の状況

ここ（V）では甲・乙2種の調査票のうち乙のみを用いた集計結果であり、甲・乙すべての調査票の集計結果であるⅠ～Ⅳにおける世帯数などとは異なっている。

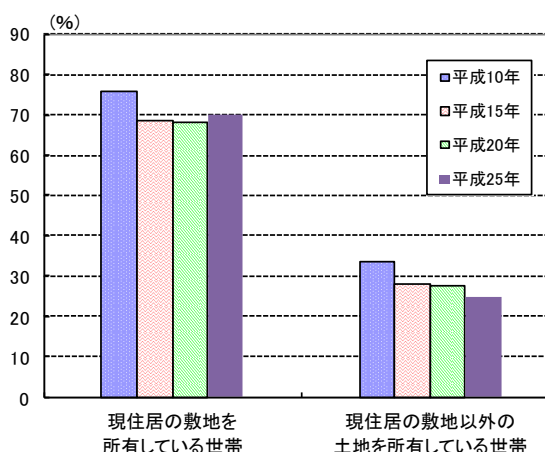
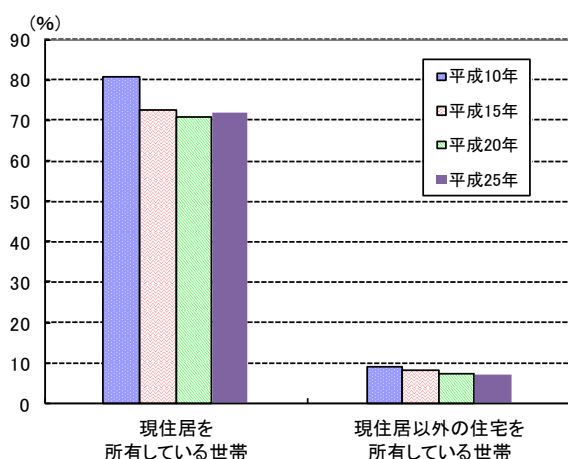
また、「世帯が住宅又は土地を所有している」とは、世帯員が住宅又は土地の所有名義人となっている場合をいい、家族名義の家に住んでいる場合には、ここ（V）では「世帯が住宅を所有している」とはならないが、（Ⅰ）、（Ⅱ）では「持ち家」に含まれる。

### 1 住宅、土地所有の概況

現住居を所有している世帯、現住居の敷地を所有している世帯は共に約7割

図 34 住宅の所有率（平成 10～25 年）

図 35 土地の所有率（平成 10～25 年）



普通世帯のうち住宅を所有している世帯が 280,000 世帯、土地を所有している世帯が 277,000 世帯となっており、それぞれ普通世帯全体（385,000 世帯）の 72.7%、71.9%となっている。

また、普通世帯うち、現住居を所有している世帯は 276,000 世帯で、普通世帯全体の 71.7%、現住居以外の住宅を所有している世帯は 28,000 世帯で同 7.3%となっている。

一方、普通世帯うち、現住居の敷地を所有している世帯は 270,000 世帯で、普通世帯全体の 70.1%、現住居の敷地以外の土地を所有している世帯は 95,000 世帯で、24.7%となっている。（図 34, 35）

富山県の住宅と土地の所有率は、共に全国第1位

普通世帯の住宅の所有率を都道府県別にみると、富山県が 72.7%と最も高く、次いで秋田県（71.8%）、山形県（71.4%）などとなっており、土地の所有率については、富山県が 71.9%と最も高く、次いで山形県（71.1%）、秋田県（71.1%）などとなっている。（表 10）

表 10 都道府県別住宅・土地の所有率（平成 25 年）

住宅所有率			土地所有率		
1	富山県	72.7	1	富山県	71.9
2	秋田県	71.8	2	山形県	71.1
3	山形県	71.4	3	秋田県	71.1
4	長野県	70.6	4	長野県	69.3
5	福井県	70.5	5	新潟県	67.2

## 2 現住居以外の住宅の所有状況

現住居以外に所有する住宅は全国に比べると貸家用が少なく親族居住用やその他が多い

普通世帯が現住居以外に所有する住宅（50,000戸）の用途（何に使われているのか）をみると、「貸家用」が24,000戸（48.0%）と最も多く、次いで「親族居住用」が16,000戸（32.0%）、売却用や取り壊すことになっている住宅である「その他」が7,000戸（14.0%）、「二次的住宅・別荘用」が3,000戸（6.0%）となっている。（表11、図38）

全国との比較では貸家用が少なく、親族居住用やその他が多い。（図38）

表11 普通世帯が現住居以外に所有する住宅数（平成25年）

	総数	親族居住用	二次的住宅・別荘用	貸家用	その他
富山県	50,000	16,000	3,000	24,000	7,000
全国	7,641,000	1,825,000	390,000	4,735,000	692,000

図38 世帯が現住居以外に所有する住宅の用途別割合（平成25年）

[富山県]



[全国]



0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

□親族居住用

□二次的住宅・別荘用

□貸家用

■その他